



研 修 報 告



「障がい児・者施設過程(通所コース)」

7月10日・18日 大阪府社会福祉協議会主催

テーマは『障がい分野の法律の変遷と事業所の課題』『自閉症の理解と支援』『障がい児・者支援の専門性』などについて学びました。

この研修を受けて、改めて私たち支援者は利用者さんにとって良い環境になっているのか？ということを考え直し、学んだことを参考にして、利用者さんひとりひとりの思いを大切に支援していきたいと思えます。(金谷)

「広報紙研修」

7月30日・8月7日 大阪府社会福祉協議会主催

両日とも講義を受けた後、参加者を8グループにわけ、実際に広報紙を作成しました。みらいで作成している”横書き”ではなく”縦書き”のもので手書き作成が新鮮でした。この研修では基礎となるレイアウトや記事の書き方、写真の使い方、フォント等色々教わりました。

縦と横の違いはあれど、みらいの広報紙に少しでも学んだことを取り入れていきたいと思えます。(岡部)

文化祭ですよ～！



文化の秋です！今年度は寒い2月から11月29日に変更して開催します。

「くまもとふなっしーもびっくり！みらいの文化祭」とサブタイトルもきまり、着々と準備を進めています。くまもとふなっしーがどんなところに参加してくれるのか期待しながら、利用者さんと一緒に皆様をお迎えしたいと思っています。

隣近所お誘いあわせいただき、1人でも多くの皆様のご来場をおまちしております。(桝川)

○空き缶回収売り上げ

7月～9月 62,505円

○カートリッジ回収売り上げ

7月～9月 27,500円相当

ご協力ありがとうございました。

●編集後記
大型の台風が2週連続しましたが、幸い大阪は被害も少なく、「みらい」も休所することはありませんでした。今月末に控えている恒例の「泊旅行」は、利用者さんが風邪をひくことなく元気に参加していただきたいと思います。

(編集担当一同)

第三者評価受審を終えて

多機能型事業所みらい
管理者 吉田 耕治

秋色深まる中、御嶽山の噴火や大型台風の襲来など、日本列島は自然災害が頻発して何かと落ち着かない日が続いていますが、ノーベル物理学賞受賞の朗報に心救われた思いをされた方は大勢おられるのではないのでしょうか。

さて本事業所では、去る9月18日、19日と2日間にわたり大阪府社会福祉協議会福祉サービス第三者評価センターによる第三者評価を受審しました。

3年前にも事業所の「自己評価」に取り組んだりしましたが、その時は職員に自己評価制度の意義を理解してもらうことを主眼に置いていた程度でした。

もちろん歯磨き講習会の実施や業務のマニュアル化や文書化の促進等の成果もありました。

今回はステップを上げて、第三者の専門機関による評価を受けてみることにしました。受審のメリットは、現在事業所が提供しているサービスについての改善点が明らかになること、そのことにより今後のサービス向上に向けた具体的な目標を設定できることなどがあげられます。

私自身は、事業所のサービスレベルが客観的な基準と比べ、どの程度のものなのかをまず知っておきたいということがありました。

評価機関へ事前に提出する資料の一つとして、自己評価シート(91項目)がありますが、5月の職員会議を皮切りに、各会議の追加案件にあげ、職員全員で各項目について協議のうえ作成していきました。

内容は「福祉サービスの基本方針と組織」「組織の運営管理」「適切な福祉サービスの実施」といった広範なものでしたが、各項目の評価の着眼点や評価の根拠の有無などの検討は、施設職員にとっては有意義なものであったと思っています。

また、受審当日は、2名の評価調査者が施設長をはじめ職員にヒアリングをされました。調査者からは「項目のほとんどは事業所が実際にやっていると思うが、それを担保したり、裏付ける記録がないことが多い。」と指摘されました。

とりわけ成功事例と支援がうまくいかなかった事例のヒアリングでは、異なる角度からのアドバイスなどを頂き、担当職員はもとよりサービス管理責任者には良い教訓になったことと思えます。

些細なことから大きなことまで、そして目からうろこのような事柄も多く、調査者の皆様には懇切丁寧なご指導を頂いたことに厚くお礼を申し上げます。

今回の受審で明らかになった改善点については、直ぐにできるもの、時間がかかるものなどありますが、一つひとつ着実な対応をしながら、サービスの質の向上に繋げてまいりたいと考えています。



広報みらい

第34号



編集・発行

社会福祉法人
豊中親和会
多機能型事業所みらい

発行人

吉田耕治

住所

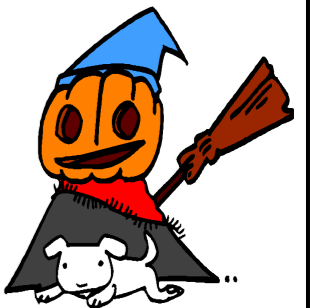
〒561-0894
豊中勝部2丁目19-3

TEL

06-6858-6697

FAX

06-6858-6698





生活介護 芸術鑑賞会 「ドラえもんを観てきました！」



大雨が続いていた9月5日(金)、予定通り生活介護事業の芸術鑑賞会が開催されました。ずっと不安定な日が続き、当日の天候が心配されていましたが往路、帰路ともに雨に降られず「誰が晴れ男？晴れ女？だったか」と後日話題になっていました。

行先は昨年に引き続き伊丹イオンにある「TOHOシネマズ伊丹」。伊丹イオンはスポーツ・ウォーキングクラブでも度々訪れている場所でもあり、利用者の皆さんもゆったりした雰囲気でも会場に向かわれました。

鑑賞映画は「スタンド バイ ミー ドラえもん」。余談ですが皆さん「ドラえもんは猫？狸？」のび太さんとしずかさんは将来どうなるのか」ご存知でしょうか？そのような話が満載の内容で、皆さん最後まで楽しそうに鑑賞されていました。また、TOHOシネマズさんのご配慮で、通常より早く客席に案内していただいたこともありゆっくりすることができました。ありがとうございました。

昼食は、上映時間の関係から13時半からになりました。食事会場はイオンの中にあるフードコート。各自好きなものを選び→ご自身で支払→お釣りとレシートを受け取るという社会体験も併せて実施しました。利用者の皆さんもスタッフも「満腹の巻」の昼食タイムを過ごしました。

往復ともみらいバスでの移動で皆さんの負担も軽く、移動時間も短く楽しい一日でした。晴れ女？晴れ男？の皆さん、雨を止めて頂きありがとうございました。(横山)



就労B型 社会見学 「造幣局に行きました。」



9月26日(金)、買い物や自動販売機で使っている身近なお金(コイン)を造っているところを見てみようということで、爽やかな秋晴れの中、桜の通り抜けでおなじみの造幣局に行ってきました!!

工場見学の都合でいつもより早い昼食(11時)になってしまい、「早すぎる！」という声もありましたが、当日は「美味しかった！」と満足して頂いた様で一安心しました・・・。

昼食後、造幣博物館に行き、時代劇に出てくる様な小判や時価3億円するという豊臣秀吉が造った貴重な大判など、昔使用されていた古銭を見学しました。博物館内にはお金の重さや金塊を直に触る事ができる体験コーナーもあり、充実した内容でした。

そして、この後、造幣局の職員さんが私達を案内してくださり、造幣局の工場見学へ移りました。明るく気さくな職員さんが、機械の説明などを丁寧にしてくださいました。大きな腕型の鉄などを切断する機械に、皆さんは興味を持って見ておられました。

約1時間をかけて、工場見学は終了しました。お土産コーナーでは、ここでしか買えないメダルセットやお菓子を購入される方もおられました。今回、普段は見ることができない所を皆さんと一緒に見学できたことに意味があったと思いました。お金を使う時に、少しでも本日の事を思い出していただけたらと思います。(松本)

食育講習会(9月24日(水))



今回の講習会は「手洗い・消毒・順番を守る 良く噛んで食べる・歯磨きをする」をテーマに行いました。

内容はスタッフの演出による〇×クイズによる楽しいものでした。手洗いは石鹸で良く洗う事、消毒を行った後は手をよく擦る事、順番を守って慌てずゆっくり並んで配膳を行う事、ご飯を良く噛んで食べる事、食後は歯磨きをしっかりと行う事を学びました。正しい方法と間違った方法を職員がデモンストレーションを行い、皆さんに答えて頂くという進め方で、どちらが正解かすぐに答えられていました。これからも習った事を継続して行い、楽しい給食になればと思っています。(指澤)



～これからも楽しい給食を～

スポーツフェスタ2014

10月10日(金)スポーツフェスタ2014を開催しました！

今回は、豊島体育館の改修工事に伴い、庄内体育館で開催する予定で準備をしていましたが、9月に豊中市より豊島体育館の使用が可能であるとの連絡を受けたため、使い勝手などの事情を考慮した結果、豊島体育館で開催することになりました。既に実行委員会が開催時間や内容について規模を縮小したの検討を行っており、大幅な変更が困難であったため、午後からの開催とさせていただきます。

限られた時間ではありましたが、ラジオ体操から始まり、玉入れ、パン取り競走などのプログラムでは、皆さんの日頃の元気が一気にでた様で、キラキラした顔で競技に臨まれていました。そして、リズム体操では「年下の男の子」やAKB48の曲目などに合わせて、楽しみながら体を動かされた後、参加者全員で手を繋ぎ大きな和になって、ビートルズのナンバー「オブラディ・オブラダ」でフォークダンスを踊り、和やかな雰囲気の中で今大会を締めることができました。

また、今回はご家族の皆さんには当日の見学は自由とさせていただいておりましたにもかかわらず、多数お越しいただき活気のあるなか運動会を開催することができたことを大変嬉しく思っています。ありがとうございました！(松本)



最後はみんなで大きな輪を作りました!

